

ハリーン通信 Vol. 31



〔目次〕

- P1 表紙・廃棄物エコ手形制度を活用した不法投棄物撤去作業の写真
- P2 廃棄物エコ手形制度を活用した不法投棄物撤去作業
- P3 不法投棄防止地区の活動紹介 「加東市常田地区」
不法投棄防止地区に「不法投棄防止資材」の配付と監視カメラの設置
- P4 環境学習 「遊ぼう！ぼうけんの森」
北播磨青少年本部・やしろの森公園協会
- P5 市町の実組 小野市「サマースクール 小学生環境教室（エコ学習）」
「小学生環境学習（小野クリーンセンター見学）」
- P6 団体の取組 北播磨地区地球温暖化防止活動推進員の活動の様子
- P7 団体の取組 「あそびながら体験！SDGs☆」
ひょうごSDGsネットワーク
- P8 市町の実組 西脇市が「SDGs未来都市」に選定
環境課からお知らせ 土砂埋立て等の規制について
ハリーンがインターネットで見られます





廃棄物エコ手形制度を活用した不法投棄物撤去作業



廃棄物 エコ手形制度 とは

管理者が不在の土地に不法投棄又は不適正処理され、地域の生活環境に支障をきたしている廃棄物を、あらかじめ「廃棄物エコ手形登録業者」として登録した産業廃棄物処理業者等と地域住民、行政がボランティアで協働して撤去（処分）し、併せて再発防止策を講じることを目的とした制度です。

現在、北播磨県民局管内では37社が登録されています。



令和3年11月17日、地元から要請があった小野市榎山町室山地区（三木市との市境）で11月24日の廃棄物エコ手形制度による廃棄物撤去の事前作業が実施されました。

現場は山陽自動車道の側道沿いの山間の林の中で、廃家電・廃タイヤ・金属くず・木くず・廃プラスチックなど、廃棄物は斜面の小竹や草の中に散乱しており、住民の方々、三木市、小野市、県民局環境課の職員が廃棄物を側道まで持ち上げ、トラックに積み込みができるように、集めておきました。



11月24日には、（一社）兵庫県産業資源循環協会東播支部、大栄環境株式会社、小野市榎山町室山地区住民、小野市、三木市、北播磨県民局の各職員が参加し、事前に集めておいた廃棄物をトラックに積み込むほか、三木市、小野市も一般廃棄物を収集しました。そして、作業終了後に不法投棄防止の看板を最後に立て、終了となりました。

住民の方々は「きれいになりました。みなさんのおかげです。今後は不法投棄が無いように見回りをしていきます」と話されていました。



1月27日、ご協力いただいた（一社）兵庫県産業資源循環協会 理事兼東播支部長 大西博久様、大栄環境株式会社 執行役員 三木事業所長 田中厚夫様に上田北播磨県民局長より、感謝状が贈呈されました。



エコ手形登録事業者 37社（敬称略）令和4年1月現在



（株）岡井組・オカモト電気（株）・門上建設（株）・（株）かんぜおん・（株）シビルクリエイト・新北播企業（株）・（株）タケベ・（株）東播開発・一組兵庫（株）・三神環境開発（株）・（株）神和商事・大栄環境（株）・永倉商事（株）・フジタ建設（株）・（有）ユニテック・片岡建材建設（株）・福田道路（株）、前田道路（株）共同企業体トウレキ合材工場・（株）小田工務店・加西砕石（株）・加西緑化・柏原建設（株）・亀井建設・（株）カンキョウ・後藤建設工業（株）・（株）新生興業加西工場・（株）ダイセン・西岡建設（株）・双葉産業（株）・大林道路（株）東条アスファルト混合所・（株）大功組・（有）不動土木・ヨリフジ建設（株）・共栄建設（株）・（株）古来造園土木・（株）清水環境産業・（株）シミズ・（株）林本興業



不法投棄防止地区の活動紹介 ～加東市常田地区～



加東市秋津の常田地区は加東市の東に位置し、北側には山頂から東条湖（鴨川ダム）や、晴れた日には明石海峡大橋まで眺望できる秋津富士、南側には東条川が流れ、酒米の山田錦の水田が広がるのどかな田園地域です。



この地区は、北播磨県民局から提供された不法投棄防止の立看板が複数立てられ、さらに今年度支給されたネットを設置するなど、不法投棄がされにくい環境作りに積極的に取り組まれてきました。

川居区長は、「これまで、幸いにも地域内で不法投棄があったとは聞いていません。今後も不法投棄をされそうな場所を探して、定期的に点検したり、除草をしてきれいにしたり、県民局から支給していただける立看板やネットを利用して、引き続き不法投棄のない地域を維持して行きたい」と話されていました。



不法投棄防止地区に「不法投棄防止資材」の配付と監視カメラの設置

毎年、不法投棄防止地区に対して不法投棄防止監視活動に係る資材の配付及び監視カメラの設置を行い、不法投棄防止に活用いただいています。

今年度も、要望があった不法投棄防止地区に不法投棄防止の立看板・監視カメラ作動中の看板・センサー付ソーラーライト・ごみよけトリーなどを配付しました。



監視カメラについては、要望があった小野市垂井町に設置しました。

太陽光（ソーラー）発電により作動するので、条件に合った場所が必要ですが、産業廃棄物の不法投棄を防ぐため、監視カメラを今後も活用していきます。





協力：兵庫教育大学
陸上自衛隊青野原駐屯地

遊ぼう！ ぼうけんの森

主催：北播磨青少年本部
やしろの森公園協会

令和3年10月2日、秋晴れのもと、県立やしろの森公園において、「遊ぼう！ぼうけんの森」が開催されました。

これは北播磨県民局管内の小学生が、兵庫教育大学等の青年とともに、県立やしろの森公園でぼうけんをしながら、いろいろなミッションに挑戦していくというイベントです。

変わりゆく季節を木々や木の葉、木の実で感じたり、公園内にあるアイガモを見たり、ザリガニを捕まえたり、自然の中で楽しい時間を過ごしました。

一昨年までは、やしろの森公園の水田で「どろん子サッカー大会」を開催し、土や水の感触を肌で感じつつ、まさにどろんこになってサッカーを楽しんでいました。

昨年はコロナの影響で中止されましたが、今年度は楽しみにしている子ども達のために兵庫教育大学の学生のみなさんや、関係者の方々が内容やルールを考え、開催されることとなりました。



46名の子ども達が集まり、北播磨青少年本部小林本部長より、「秋晴れになって良かった、楽しんでください」と挨拶がありました。そしてリーダーより、ルールの説明と、活動の際の注意があり、その後、班に分かれて自己紹介やウォークラリーについての作戦を立てました。

ウォークラリー出発！！



水鉄砲で的を当てよう！



井戸水をくみあげよう！



だれのしわざ！



カモと触れ合ってみよう！



スーパーボールすくい



ゴールを決めよう！



自衛隊の活動を知ろう！災害救助活動を体験しよう！



広い公園内に子ども達の歓声や元気な声が響きました。いろいろなミッションやクイズをクリアしながらピンゴを完成し、得点を積み上げていきました。

ウォークラリーの後、班ごとにふりかえりタイムがあり、楽しかったことをまとめました。

最後に得点の発表があり、優勝、準優勝、3位までのチームに城下北播磨県民局県民交流室長より、表彰状とメダルが授与されました。「来年はどろんこサッカーをしましょう！」という小林本部長のあいさつで閉会となりました。





サマースクール 小学生環境教室(エコ学習)



令和3年8月5日、小野市立図書館で小野市生活環境グループによる「サマースクール 小学生環境学習(エコ学習)」が開催されました。コロナ禍であり、感染対策をした上で少人数で行われました。

まず、地球温暖化についてお話を聞きました。

地球温暖化により、アラスカにある氷河が60年の間に12キロメートルも溶けている。これによって海の水が増えて海面が上がり、沈んでしまう島が出てきたり、世界各地で異常気象と言われる大きな台風や、集中豪雨、干ばつが起きている。児童達も時々経験する、大雨や、大きな台風などが、地球温暖化が原因のひとつだと知って驚いていました。

「温暖化にならないようにするために、私たちが出来ることは何でしょう？」の質問には「ごみを減らして燃やす量を少なくする」「リサイクルできる物は、集めて出す」「ごみを分別して、リサイクルして使う」などたくさんの意見が児童達から出ました。

小野市では、ごみを9種類に分別し、回収してリサイクルをしています。児童の皆さんにボードを使ってごみの分別を実際に考えてもらいました。
お茶碗→不燃ごみ・たまご→可燃ごみ・自転車→粗大ごみ、迷ったものもあるけれど、楽しく学習できました。

「ごみを減らすことは難しいけれど、分別をして資源に戻していくことや、繰り返し使うことが大切です。地球温暖化にならないように、児童の皆さんは今日学んだことを、家に帰ったらご家族の方に伝えてください。ごみを減らす意識を持ちましょう」と締めくくられました。



小学生環境学習(小野クリーンセンター見学)



12月24日、冬休みにごみについて学ぶ環境学習(小野クリーンセンター見学)が開催されました。小学生ら12名と市内で地球温暖化の防止活動に取り組む「エコおの」の方々も一緒に参加されました。小野市役所の駐車場から、バスで移動。

小野クリーンセンターの会議室で、小野クリーンセンターの大野さんよりお話しをお聞きしました。このクリーンセンターは小野市・加西市・加東市(滝野町を除く)のごみを回収し処分をしているそうです。再生利用出来るものは別にして、後は焼却し、焼却灰は播磨町から船で海上の埋め立て地に運ばれるそうです。

お話の後に、クリーンセンターの中でごみを処理していく様子を実際に見せていただきました。クレーンでのごみの移動や中央制御室の中をみることができました。そして24時間体制でお仕事をされていることを知りました。

また、会議室に戻ってから、「エコおの」の皆さんから牛乳パックのリサイクルについて教えていただきました。

クリーンセンターに集められるたくさんのごみを見て、児童の皆さんはごみの分別・ごみの減量に興味関心をもちました。





兵庫県では地域での地球温暖化対策を推進するためのボランティア活動をしていただく「兵庫県地球温暖化防止活動推進員」を3年ごとに募集をしています。

推進員は地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき兵庫県知事が委嘱します。

今年度は、第8期の始まりの年で17名の方に兵庫県知事から委嘱状をお渡ししました。

コロナ禍で管内の市町のイベントが少ない中、オンラインで定例会議を開催したり、少人数でのイベントなど内容を工夫しながら、北播磨地域地球温暖化防止活動推進員の会員の皆さんは地球温暖化防止活動を続けていました。

8月12日には『かとう夏のCOOL CHOICE ウィーク』に参加し、ペットボトルのキャップを使ってお花のブローチを作るワークショップを開催し、ペットボトルなどの再利用を呼びかけました。



また、10月10日には加西市の「かさいまちあそび」のイベントに参加。「あつまれ！プラゴミ調査隊」を開催しました。プラゴミが小さく分解されるのに450年かかることを聞いたり、会場になっている公園内の池でビンゴゲームをしながら、ペットボトルやビニール袋、ビン探しなどをしました。

池ではすぐにペットボトルや、ビニール袋が見つかり、生活の中にペットボトルなどのプラゴミが入り込んでいることをみんなで再認識しました。



さらに、兵庫県の海岸の砂を使って、プラゴミを探してみました。ペットボトルのかけらや、プラスチックの破片などが見つかり、海の中や海岸に捨てられているプラゴミやビニールを誤って食べてしまうサカナやウミガメがいることを聞いてプラゴミを出さない、分別して再生するなどひとりひとりが出来ることをすることが大切であると感じました。



参加者のひとり、「家の近くの川や池が海につながっていることに気付いていませんでした。海が近くに無いから、という考えはNGですね」と話していました。



10月31日には「みっきい★エエコ★クラブ（エコ三木）環境学習教室」が開催され、小学生15名と保護者5名が太陽エネルギーの学習と太陽光を活用したソーラーで動くものを作りました。地球温暖化防止活動推進員も参加し、学習のお手伝いをしました。

電気を作るエネルギーは石油や石炭、天然ガスなど地球からとれるものと、太陽や風力、水力など自然のものがある。太陽光や風力エネルギーは誰もが使えて二酸化炭素を出しません。二酸化炭素を出すと地球が熱くなり、地球温暖化になってしまいます。と話を聞いたあと、ソーラーカーや、ソーラーオルゴールを作りました。

動いた時は、とても嬉しそうに子ども達の笑顔がみられました。





ひょうごSDGsネットワーク



国際連合が提唱する持続可能な開発目標を提唱する持続可能な開発目標の達成をめざし一般市民の立場として取り組み活動を推進していくことを目的に、2019年9月に「ひょうごSDGsネットワーク」が設立されました。

北播磨管内で作られた環境団体として、設立以来意欲的に啓発に取り組んでおられます。



11月3日に加西市で開催された「かさいまちあそび」で、「ひょうごSDGsネットワーク」がワークショップ「あそびながら体験！SDGs☆」を実施しました。その様子を紹介します。

青い空に気球が浮かぶ秋晴れの日、会場の丸山総合公園には家族連れの方々が、たくさん遊びに来られていました。その公園内の管理棟研修室が会場になりました。

講師は「ひょうごSDGsネットワーク」代表林山さんです。今日は、SDGsの15番目の目標『陸の豊かさも守ろう』がテーマです。

「飛行機のパイロットは、2人で操縦しています。食事を飛行機の中で食べますが、2人とも同じメニューを食べません。どうしてかな？」という質問から話が始まりました。

「好きなものを選ぶから」「食べたいものを食べる」など子ども達から出てきました。「答えは2人とも同じ物食べて、お腹がいたくなったら飛行機を操縦する人がいなくなってしまうからです」「ヘー！！」「操縦出来なくなったら墜落してしまう」と子ども達から声がでました。

「草やお花などの植物も同じ種類のものばかりだと、無くなってしまうかもしれない。だから、いろんな植物があります。これを「生物多様性」って言います。1年で4万種類の植物が地球温暖化や人間が森などを切り開いていることで無くなっています。

今日はいろんな植物があることを知るために、5つの違う葉っぱを探して、「かたちのちがう葉っぱずかん」を作りたいと思います」

そして、葉っぱずかん作りがスタートしました。



気球！



まず、葉っぱ探し開始！
好きな落ち葉を5枚探します

画用紙に貼り付け、名前・特徴・気がついたことを書いていきました



いろんな葉っぱがあり、みんな特徴があって、ステキな「ずかん」ができました。生物多様性のお勉強をしながら、楽しい時間を過ごせました。



西脇市が「SDG s 未来都市」に選定されました



予測困難な社会の中、誰もが生涯にわたっていきいきと暮らし、輝ける地域社会を築き、私たちのまちを次世代へとつないでいくため、2018 年度に西脇市総合計画を策定しました。この計画は「SDG s の達成のために自治体レベルで取り組んでいくための指針」としても位置付けており、SDG s の理念を踏まえたまちづくりを進めてきました。また、「西脇市SDG s 推進計画」では17のゴールごとに施策・取組を整理。SDG s の視点で市政の見える化にも取り組んでいます。これら様々な取組が評価され、日本経済新聞社が実施する「全国市区SDG s 先進度調査」では人口別総合ランキングで1位になりました。

さらに2021年5月には、SDG s の理念に沿った統合的取組を推進しようとする都市の中から、特に経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い地域として、国から「SDG s 未来都市」に選定されました。



環境課からお知らせ

土砂埋立て等の規制について



昨年7月に静岡県熱海市で発生した土石流災害では、起点付近にあった埋立て土砂が被害を拡大させたとみられています。

兵庫県では一定規模以上の土砂の埋立て等について、廃棄物等の混入や災害を防止することなどを目的とした条例を制定し、規制を行っています。

具体的には、1,000平方メートル以上でかつ、高さ1メートルを越える土地の埋立てや盛土、一時的に土砂を堆積する工事（これらの行為を「特定事業」と呼んでいます）は、県の許可が必要となります。

ただし、工事区域内で採取された土砂のみ使用して行う行為（外部からの土砂の搬入がない場合）、国・地方公共団体が行う行為等は対象外となります。

許可を受けた工事は、現場周辺に「特定事業許可標識」が掲げてあります。

許可を受けずに、一定規模以上の土砂の埋立て工事が行われている現場を発見された場合は、北播磨県民局環境課（0795-42-5296）までお知らせください。



ハリー通信がインターネットで見られます

平成17年の創刊号から、最新の30号までのハリー通信をインターネットで見ることができます。ぜひ、ご利用ください。

「北播磨県民いきいき情報」を入力し、検索してください。

右のQRコードからでも見ることができます。→

兵庫県北播磨県民局 県民交流室 環境課

TEL 0795-42-5111（内線341）

FAX 0795-42-7535

